

穂別町立博物館報

第 7 号

(平成元年度)

穂 別 町 立 博 物 館

目 次

沿 革	1
施設 の 概 要	2
展 示 活 動	4
資料収集保存活動	5
調 査 研 究 活 動	6
普 及 教 育 活 動	7
運 営	9

● 沿革 (この博物館は、国の公立社会教育施設整備事業および北海道市町村新興補助事業の補助を受け建設されたものである。)

昭和50年6月 荒木新太郎氏(穂別町・板金業)が字長和、サヌシュベ川の枝沢で、化石骨のはいったノジュールを発見、一部採集。

昭和51年9月 佐藤昌人指導員(苫小牧青少年センター)・佐藤隆久教諭(穂別町仁和小学校)が、荒木氏の発見した化石を撮影。国立科学博物館に送付、長谷川善和主任研究員に鑑定を依頼。

昭和52年2月 長谷川主任研究員の鑑定結果、北海道新聞で報道。白亜紀後期の海棲爬虫類の鱗状になった前・後肢いずれかの骨格の一部と確認。

昭和52年7月5～8日 穂別町首長竜化石発掘調査団、結成。発掘調査。

昭和53年5月 長頸竜化石クリーニング作業開始。(於:さくら保育所施設)

昭和53年11月 穂別町立郷土資料館、開館。(旧:さくら保育所施設利用)

昭和54年3月5日 長頸竜化石骨、穂別町指定文化財第2号に指定。

昭和55年10月16日 第1回穂別町郷土資料館建設計画検討委員会開催。
北川芳男学芸部長(道開拓記念館)、講話。話題「特色のある郷土資料館づくりとは」

昭和55年11月26日 第2回検討委員会開催
建設の目的、設定。

<建設の目的>

本町は、クビナガリュウをはじめデスマスチルス、海ガメなど多くの動植物の化石が発見されることから、道内でも特異な地質条件にあることが予想される。こうした自然環境を背景に、先人は寒冷地での生活に耐え抜いて開拓の苦闘に打ち勝って穂別の歴史を展開してきた。

穂別町開基70年(町制施行20年)を記念して、本町の地質系統と生物の進化、開拓

の足跡を示す歴史資料を収集・保存・展示して、先人がいかに自然との調和を図りながら開拓を進めてきたかを理解し、そして未来を創造するために穂別町郷土資料館を建設するものである。

昭和55年12月15日 第3回検討委員会開催

昭和55年12月22日 第4回検討委員会開催

昭和56年1月27日 第5回検討委員会
亀谷 隆学芸員(道開拓記念館)より展示シナリオ提示。

昭和56年3月13日 第6回検討委員会
施設平面図提示。名称を穂別町郷土資料館から穂別町立博物館に変更。

昭和56年5月22日 第7回検討委員会開催

昭和56年6月11日 第8回検討委員会
展示班・資料収集班・図書班設置。
特別協力員選出。

昭和56年6月24日 第1回展示班打ち合わせ会議
展示シナリオの分担を決定

昭和56年7月11日 展示班視察研修。
(於:道開拓記念館)

昭和56年7月 博物館施設建築工事着工

昭和56年9月1日 学芸員採用
(鈴木 茂 北海道大学大学院)

昭和56年10月29日 第9回検討委員会

昭和56年12月 博物館施設建設工事完了

昭和57年1月16日 長頸竜復元作業開始

昭和57年2月10日 第10回検討委員会
展示シナリオ最終決定。

昭和57年3月5日 第2回展示班会議開催

昭和57年3月11日 第1回資料収集班会議
資料収集方針および収集計画決定。

沿革

昭和57年3月 博物館展示工事開始

昭和57年6月 博物館展示工事完了

昭和57年7月20日 博物館開館
一般公開開始。

昭和57年8月 第1回博物館協議会開催

昭和57年12月19日 長頸竜復元骨格展示公開
第1回特別展
「よみがえるクビナガリュウ」開催

昭和58年6月 常設展、一部展示替え
産出化石を地層別から分類別展示に変更

昭和59年2月 「よみがえるクビナガリュウ」
村上 隆 著、発刊。

昭和60年11月1日 第2回特別展
「北海道一億年」開催

昭和61年10月21日 第3回特別展
「穂別の自然」開催

昭和62年7月28日 第4回特別展
「アンモナイトの系図」開催

昭和63年8月23日 第5回特別展
「穂別のカメラ化石」開催

平成元年7月18日 第6回特別展
「穂別のむかし」開催

● 施設の概要

位 置 北海道勇払郡穂別町字穂別80番地の6

建築面積 1,232 m^2
(内 訳)

常設展示室 372.88 m^2
第2展示室 99.37 m^2
第3展示室 32.40 m^2
特別展示室 99.08 m^2
収 蔵 庫 86.56 m^2

事 務 室 40.50 m^2
研 究 室 31.50 m^2
整 理 室 29.92 m^2
学習展示室 184.75 m^2
書 庫 35.05 m^2
共用部門 219.76 m^2

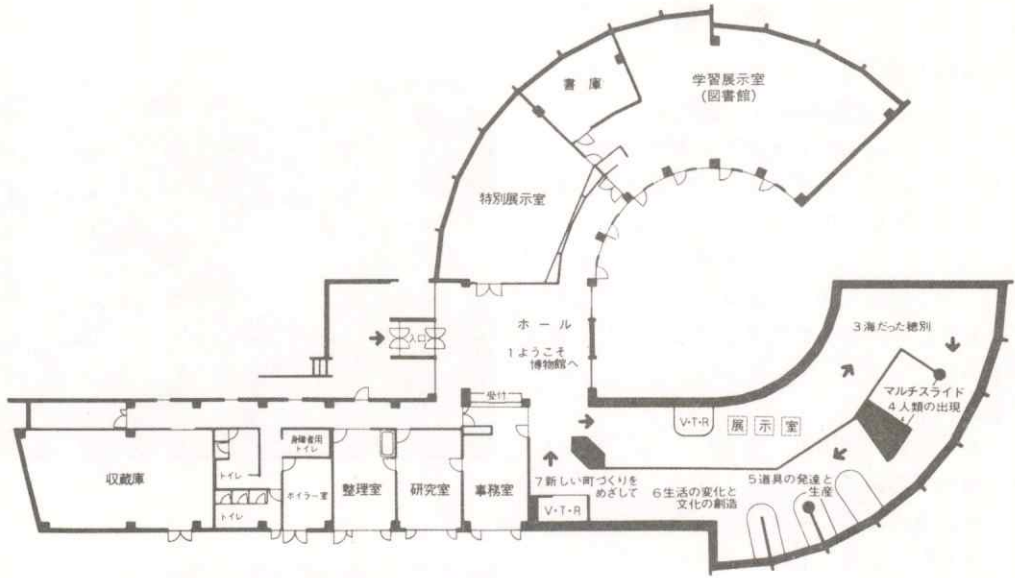
建築構造(本館)

鉄筋コンクリート平屋建

工 期 昭和56年度～57年度

総事業費 3億7,276万5千円

● 施設平面図



● 展示資料概要

人文系資料

	生活	産業	その他	計
常設展	120	308	194	622
第二展	293	511	2	806
第三展	96	32	21	149
(収蔵庫)	359	468	1,275	2,102
計	868	1,319	1,492	3,679

自然史系資料

	動物	植物	その他	計
常設展	128	2	24	153
整理室	37	0	0	37
貸出中	5	0	0	5
(収蔵庫)	542	0	0	542
計	712	2	24	738

(1990. 3. 31.現在未登録資料は除く)

自然系資料

	動物	植物	その他	計
常設展	8	0	0	8
(収蔵庫)	46	23	0	69
計	54	23	0	77

● 展示活動

I 特別展

■第6回特別展「穂別のむかし」

＝写真で見る穂別の歴史＝

「明治・大正・昭和と穂別町の歴史をつくってきた人々、町の姿、産業、生活、教育など、たくさんの写真で歴史を振り返ってみます。」

：（特別展ポスターより）

- ・期 間：平成元年7月18日～8月20日
- ・入場者数：510名（観覧者名簿に記載した者）
- ・展示内容：

「写真」；

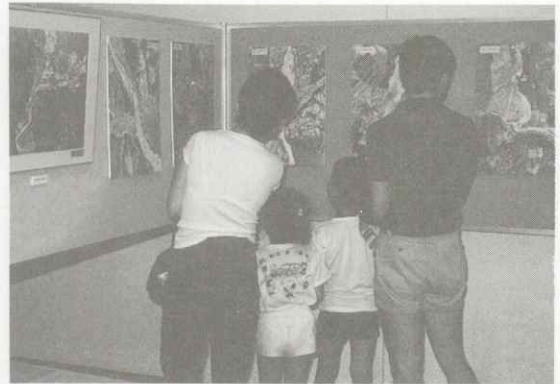
1. 空から見た穂別町：9点
2. 穂別町の産業（製炭）：8点
3. 穂別町の産業（製材）：8点
4. 穂別町の産業（農業）：4点
5. 穂別町の産業（石炭）：6点
6. 穂別町の産業（鉱業）：2点
7. 穂別町の産業（通商）：5点
8. 穂別町民の生活（町並み）：13点
9. 穂別町民の生活（治安）：4点
10. 穂別町民の生活（生活）：11点
11. 穂別町民の生活（教育）：11点
12. 災害：1点

「地形図」

穂別町市街図（1：5000）：1点

「旧住宅内部セット」

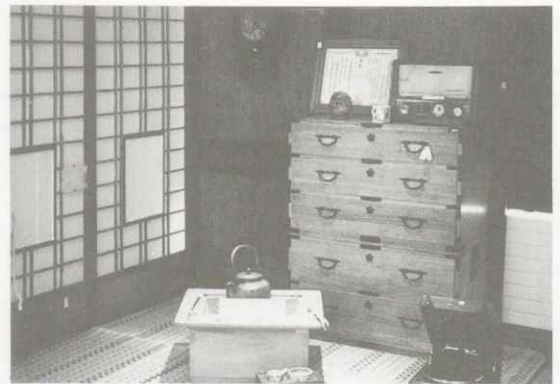
記念写真撮影用、復元住宅内部：1点



「穂別のむかし」



「穂別のむかし」



「穂別のむかし」

● 資料収集保存活動

平成元年4月1日から平成2年3月31日までに
寄贈、採集、寄託された資料を順に記した。

(敬称略)

I 寄 贈

【人文系資料】	13件 72点
釣竿、スキーなど	(9点)河合 昭
柱時計、アイロンなど	(7点)木村 利一
製縄機	(1点)穂別小学校
古写真	(18点)日本通運・穂別営業所
古写真	(3点)大沼 三行
土器片	(15点)長尾 秋雄
薬手返し	(5点)伊藤 好一
土器片	(1点)西 秀隆
杵(イコタニ)、鉢(パッチ)	(2点)三上 喜一
古写真	(7点)浅野シズエ
林野保護委託証とバッジ	(2点)中条 桃太郎
石斧	(1点)石崎 正行
掛軸、古写真、絵葉書	(1点)安富 薫

【自然系資料】	1件 1点
鹿の角	(1点)竹田 剛志 中村 信一

【自然史系資料】	8件 71点
アンモナイトノジュール	(52点)藤田 欣亨
材化石	(1点)小石川イソ
サメ椎骨ノジュール	(1点)三宅 俊一
貝化石	(1点)竹田 光男 清川 卓
貝化石	(5点)宮崎 智義 佐藤 智
アンモナイトノジュール	(6点)笠巻袈裟男
流紋岩球果	(4点)高橋 博志
脊椎動物化石ノジュール	(1点)利光 誠一

II 採 集

【自然史系資料】	
6月2日 字福山	新生代貝化石
6月11日 字福山	新生代貝化石
8月12日 字福山	新生代貝化石

【人文系資料】	
7月20日 字福山	風呂釜

III 寄 託

平成2年3月31日現在で寄託中の資料

【自然史系資料】	(敬称略)
阿部 利春	白亜紀カメ化石(1点)
阿部 利春	アンモナイト(1点)
荒木新太郎	アンモナイト(7点)
荒木新太郎	イノセラムス(2点)
石崎 正行	アンモナイト(2点)

【人文系資料】	(敬称略)
佐久間正雄	郷土史資料(2点)

● 調査研究活動

I 脊椎動物化石の研究

【デスモステルス】

- 木村方一、北海道教育大学教授に研究委託
公表論文：
〔1984〕穂別町立博物館研究報告〔1〕、11-23.
〔1984〕松井・山口と共著
地団研専報〔28〕、51-61.
〔1985〕穂別町立博物館研究報告〔2〕、51-62.
投稿準備中
赤松守雄、北海道開拓記念館学芸員に研究委託
公表論文：
〔1984〕地団研専報〔28〕、63-68.

【クジラ】

- 木村方一、北海道教育大学教授に研究委託。
投稿準備中

【ウミガメ】

- 平山 廉、帝京技術科学大学講師に研究委託
公表論文：
〔1984〕鈴木 茂と共著
穂別町立博物館研究報告〔1〕、17-30.
投稿準備中
地徳 力、学芸員が別資料で研究開始
投稿準備中

【長頸竜】

- 仲谷英夫、香川大学助手に研究委託。
公表論文：
〔1981〕日本地質学会第88年学術大会
〔1982〕日本地質学会第89年学術大会
〔1982〕動物と自然、12:11-16.
〔1984〕穂別町立博物館研究報告〔1〕、37-40.
〔1985〕穂別町立博物館研究報告〔2〕、43-49.
〔1989〕穂別町立博物館研究報告〔5〕、43-48.
〔1989〕日本古生物学会報告・紀事〔154〕、96-116.

【モササウルス】

- 鈴木 茂、穂別町立博物館前学芸員が研究継続
公表論文：
〔1985〕穂別町立博物館研究報告〔2〕、31-42.
〔1985〕地団研専報〔30〕、45-66.
地徳 力、学芸員が別資料で研究開始
公表論文：
〔1987〕日本地質学会第94年学術大会

【サメ】

- 久家直之、京都大学大学院院生に研究委託
公表論文：
〔1984〕穂別町立博物館研究報告〔1〕、33-36.
投稿準備中

II 刊 行 物

【穂別町立博物館館報】

第6号、9頁 平成元年7月31日発行

【穂別町立博物館研究報告】

第6号、48頁 平成2年3月30日発行

■著者及び論文題名

- 松本達郎：北海道登川産コスマチケラス科アン
モナイトならびに関連属種について
の所見。
1-14、pl. 1.
太田英順・中川 充：
穂別町福山産砂白金。15-24.
地徳 力：穂別町立博物館所蔵の脊椎動物化石
について。25-36.
地徳 力：ティーレル古生物学博物館とドラム
ヘラー市。37-47.

● 普及教育活動

I 博物館講座

【化石クリーニング教室】

5月から10月までの第1・3日曜日に開講（5月都合により休講）。要望があれば随時開講している。恒例化したため参加人数は記録していない。

II ホッピーだより（博物館広報）

【主な内容】

63号	昭和63年度博物館収集資料について	1年4月
64号	恐竜博物館への路＝その1＝ ティール古生物博物館との交流	1年5月
65号	恐竜博物館への路＝その2＝ ティール古生物博物館との交流	1年6月
66号	恐竜博物館への路＝その3＝ ティール古生物博物館情報	1年7月
67号	恐竜博物館への路＝その4＝ ドラムヘラー市とその周辺	1年8月
68号	ホベツアラキリュウ研究、一段落 論文、学会誌に載る	1年9月
69号	カナダからの手紙 ＝穂別版、その1＝	1年10月
70号	カナダからの手紙 ＝穂別版、その2＝	1年11月
71号	カナダからの手紙 ＝穂別版、その3＝	1年12月
72号	『馬・牛・ウマ』	2年1月
73号	カナダからの手紙 ＝穂別版、その4＝	2年2月
74号	カナダからの手紙 ＝穂別版、その5＝	2年3月

III 北海道博物館協会 学芸職員研修会

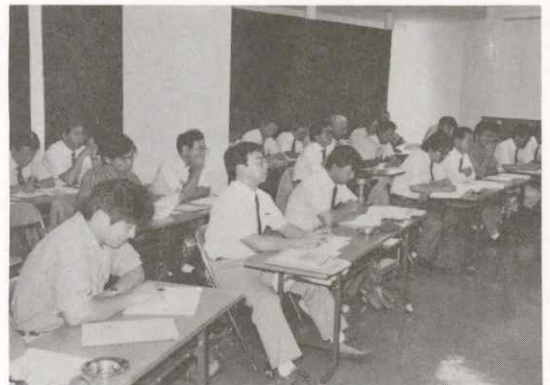
9月13日～14日、穂別町立博物館において「北海道博物館協会 学芸職員研修会」が行われた。

【研究協議】

1. 「クビナガリュウの発見から博物館建設まで」
講師：今 幸太郎氏（穂別町立博物館長）
2. 「ドラムヘラー市とティール博物館」
講師：北川 芳男氏（静修短期大学教授）
3. 「進化の路計画について」
講師：小野寺昭徳氏（穂別町都市計画課長）
4. 「穂別町の自然の教材化について」
講師：村上 隆氏（町立穂別中学校教諭）



「学芸職員研修会」



「学芸職員研修会」

Ⅳ その他

【穂別町教職員館内視察】

平成元年6月3日：穂別町新任教職員（12名）が研修で来館

【神奈川県立高等学校教科研究会理科部会巡検】

平成元年8月21日：神奈川県立高等学校教科研究会理科部会（25名）が研修に来町

【全国私立中学高等学校理科（地学）研究会】

平成元年8月4日：全国私立中学高等学校理科（地学）研究会（100名）が研修に来町

【自然体験王国北海道（穂別コース）】

平成元年7月29日～8月3日：自然体験王国北海道（穂別コース：46名）の見学、化石採集、クリーニングを指導

【町内学校の利用】

5月23日：和泉小学校1・2・3・4学年（30名）

6月22日：仁和小学校3・4学年（6名）

7月4日：穂別小学校化石クラブ（29名）

7月11日：仁和中学校3学年（6名）

9月1日：稲里小学校3・4学年（4名）

9月6日：穂別小学校化石クラブ（30名）

10月19日：穂別小学校6学年（41名）

10月21日：穂別中学校3学年（36名）

11月9日：穂別中学校化石クラブ（15名）

2月20日：富内小学校3・4学年（4名）

【町外学校の利用】

6月3日：札幌市宮の森中学校（166名）

6月9日：札幌市立大通小学校（44名）

6月23日：静内町静内小学校（91名）

6月30日：札幌市八軒西小学校（140名）

7月4日：静内町桜丘小学校（83名）

7月6日：札幌市真駒内緑小学校（147名）

7月11日：早来町遠浅北小学校（70名）

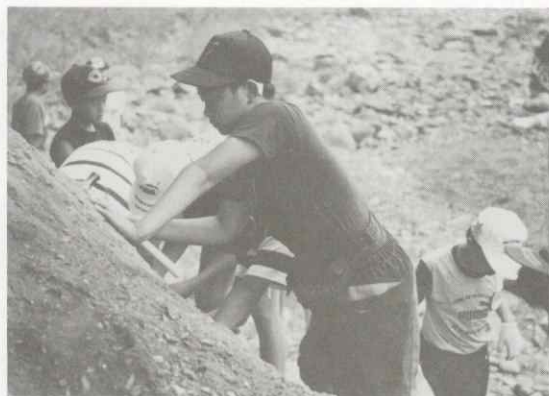
9月22日：美唄市立美唄中学校（133名）



「館内観覧（自然体験王国北海道）」



「化石クリーニング（自然体験王国北海道）」



「化石採集（自然体験王国北海道）」

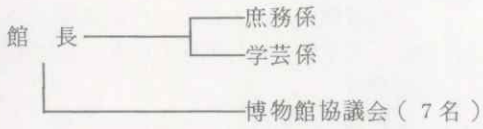
● 運 営

I おもなてきごと

【平成元年度】

- 4月19～27日 第2展示室補修、一部展示替え
- 4月28日 遠軽町議会議員（10名）視察
- 4月29日 穂別町産カメ化石展示
- 5月3～7日 学芸員、日本地質学会（水戸）出席
いわき市石炭化石館を視察
- 5月16日 化石クリーニング臨時職採用
- 5月17日 壮瞥町助役ほか（2名）視察
- 5月23日 鹿児島県野田町議会議員（20名）視察
- 5月23日 国土庁農林整備課長ほか（12名）視察
- 5月30日 博物館協会総会
- 6月8日 更別村農業委員（8名）視察
- 7月1日 東北大学理学部地質古生物学教室大学院生、地質調査に来町
- 7月4～7日 小平町教育委員会（3名）、化石クリーニング研修に来館
- 7月16日 様似町役場保健衛生課長ほか（22名）視察
- 7月18日～8月20日 特別展「穂別のむかし」開催
- 7月20日 木村方一氏（北海道教育大学教授）来館
- 7月25日 小平町議会クビナガリュウ調査特別委員会（7名）視察
- 8月3日 北海道農政課長ほか（3名）視察
- 8月6日 佐藤一夫氏（苫小牧市博物館副館長）
北海道博物館協会学芸職員研修会打ち合せのため来館
- 8月27日 松本達郎氏（九州大学名誉教授）来館
- 9月1日 室蘭開発建設部河川管理課（6名）視察
- 9月2日 安藤寿男氏（東大総合研究資料館）来館
- 9月10日 バンケットサノ沢、カメ化石発掘採集
- 9月13～14日 北海道博物館協会学芸職員研修会開催
- 9月29日～10月6日 学芸員、カナダ・アルバータ州ドラムヘラー市視察研修
- 9月30日 黄木宏・梁日暄氏ほか（中国地質科学院、地質鉱産研究所：4名）・渡辺輝夫氏（北海道大学助教授）来館
- 10月15日 苫小牧市博物館化石観察会、来町・指導
- 10月17～19日 小平町教育委員会（3名）、化石クリーニング研修に来館
- 10月18日 北海道胆振教育局初任者研修（8名）指導
- 11月1日 北海道高等学校長協会苫小牧地区校長研修会（9名）視察
- 1月19～20日 古沢仁氏（旭川北高等学校教諭）来館（展示替え指導）
- 1月23日 高橋茂氏（胆振教育局企画監理課長）ほか（4名）視察
- 1月31日～2月1日 仲谷英夫氏（香川大学助教授）来館（展示替え指導）
- 3月6日 今金町文化財保護委員（5名）・同博物館構想委員会（3名）・同教育委員会職員（2名）視察
- 3月16日 博物館協議会開催
- 3月27日 菅原裕一氏（豊頃町教育委員会）来館

Ⅱ 組 織



昭和62年3月31日に、都田 哲学芸補助員（嘱託）が退職して以来、学芸補助員職は臨時職員で対応している。

職員名簿（平成2年3月31日現在）

館長 今 幸太郎（嘱託）
学芸員 地徳 力

博物館協議会委員（平成2年3月31日現在）

会長 久保田瑞真
副会長 荒木新太郎
委員 佐藤 嗣夫
委員 武田 武夫
委員 中村 忠良
委員 村上 隆
委員 小石川武美

（平成2年7月31日まで）

Ⅲ 利用状況

【平成元年4月～2年3月；入館者数】

月	一 般	学 生	計	開館日
4	421	129	550	25
5	1,125	464	1,589	21
6	472	487	959	26
7	793	585	1,378	26
8	1,457	1,101	2,558	26
9	543	296	839	23
10	651	183	834	24
11	248	81	329	23
12	68	10	78	24
1	51	34	85	19
2	128	36	164	22
3	285	66	351	25
計	6,242	3,472	9,714	284

Ⅳ 平成元年度予算

Ⅴ 利用案内

費 目	予 算 (単位千円)
報 酬	35
共 済 費	115
賃 金	3,231
報 償 費	719
旅 費	298
需 用 費	5,543
	消耗品費 825
	燃 料 費 802
	食 糧 費 181
	印刷製本費 1,235
	光 熱 水 費 2,300
	修 繕 費 200
役 務 費	448
	通信運搬費 309
	手 数 料 69
	保 険 料 70
委 託 料	1,234
使用料及び賃借料	538
工事請負費	1,400
原 材 料 費	100
備品購入費	1,774
負担金補助及び交付金	155
博物館費合計	15,547

【開館時間】 午前 9 時 30 分～午後 4 時 30 分

【休 館 日】 月曜日・祝日の翌日・毎月月末・
年末年始（12月30日～1月6日）

【観 覧 料】

	一 般	小中学校・高校生
個 人	200 円	50 円
団体（10人以上）	150 円	30 円

【減 免】

- 1) 穂別町立小学校及び中学校が教育計画のため入館する場合
- 2) 国・地方公共団体及び学術研究機関の職員が調査・研究のため入館する場合
- 3) 老人福祉法（昭和38年法律第133号）第14条に規定する町内の老人福祉施設が収容者の養護計画のため入館する場合
- 4) 精神薄弱者福祉法（昭和35年法律第144号）第18条に規定する町内の精神薄弱者福祉施設が収容者の養護計画の実施のため入館する場合
- 5) 前各号に定めるもののほか、公益上または教育振興上特に教育長が必要と認める場合

穂別町立博物館報第7号

(平成元年度)

発行 1990年7月31日

発行者 穂別町立博物館

〒054-02

北海道勇払郡穂別町字穂別80番地の6

TEL (01454) 5-3141

印刷 さんようプリント

苫小牧市柏木町1丁目16-9

